



市公式キャラクター
『エーナ』



所 管	教育委員会事務局生涯学習課		
担 当	吉村 新悟	問い合わせ	0573-26-2111 (内線 477)
所 管	中山道広重美術館		
担 当	中垣 絵理	問い合わせ	0573-20-0522

報 道 機 関 各 位

企画展「ウーマンズライフスタイル」の開催について

上記企画展の開催についてお知らせします。

記

1. 会 期
(1) 開催期間：令和4年12月15日（木曜日）から
令和5年1月22日（日曜日）
(2) 開館時間：午前9時30分から午後5時
(入館は午後4時30分まで)
(3) 休 館 日：令和4年12月19日（月曜日）、12月26日
(月曜日)～令和5年1月1日（日曜日）、
1月3日（火曜日）、10日（火曜日）、16日
(月曜日)
2. 場 所 中山道広重美術館（大井町176番地1）展示室1
3. 内 容 浮世絵には「美人画」に代表されるように、太夫や有名茶屋の娘など艶やかな女性たちが数多く描かれてきましたが、市井の女性たちもまた登場します。江戸時代は、現代よりも顕著な男尊女卑の考えや厳しい身分制度のある時代でした。しかし、女性たちは、時に子育てと並行しながら、男性顔負けの力仕事をしたり、時に根気と丁寧さが求められる細やかな手仕事をしたりと、日常をたくましく生きていました。また、江戸時代中期以降は庶民による遊興の旅も可能となったことから、名所絵や街道絵には旅を楽しむ女性の姿も描かれています。本展では、浮世絵を通して名もなき女性たちが日常を紡ぐ姿を垣間見ます。
4. 主 催 恵那市、恵那市教育委員会、（公財）中山道広重美術館

5. 料 金 一般 520 円 (20 名以上の団体は 420 円)
※18 歳以下無料、また本展会期中に限り同行の保護者も無料。
※障がい者手帳 (身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳) をお持ちの方と付き添いの方 1 名は無料
※毎週水曜日はフリーウェンズデー (終日観覧無料)
※毎週金曜日はフリーフライデー (終日観覧無料)
※1 月 2 日 (月曜日) は特別開館 (観覧無料)
※1 月 8 日 (日曜日) は「市民の日」で恵那市民に限り観覧無料

6. 図 版

歌川広重「京都名所之内 八瀬の里」
大判錦絵 天保5年(1834)頃
当館蔵(田中コレクション)

3 人の大原女がそれぞれ柴や梯子、木槌を頭に乗せ、比叡山の麓に位置する集落・八瀬の小道を進んでいきます。山城国(現・京都府)大原に住む行商の女性・大原女は、京都の町中で地元の特産品である薪柴、木工品を売り歩きました。大原女たちは、自身の頭から大きく張り出すほど大きく重量がある品々を軽々と頭の上に乗せ、力強い足取りで京へと向かいます。



7. 関連イベント ※無料 (ただし観覧料が必要です)

(1) 学芸員による作品ガイド

日 時: 令和5年1月15日(日曜日) 午前10時30分から(30分程度)

場 所: 展示室1

(2) 解説ボランティア幽遊会による作品ガイド

日 時: 随時 (要事前予約)

主催：恵那市、恵那市教育委員会、(公財)中山道広重美術館

【企画展】

ウーマンズライフスタイル

会期：2022年(令和4)12月15日(木)～2023年(令和5)1月22日(日)

場所：中山道広重美術館 展示室1(1F)

作者	作品名	版元	判型	制作年	所蔵
無款(溪斎英泉)	岐阻街道 深谷之駅	保永堂(竹内孫八)	大判錦絵	天保6～7年(1835-36)頃カ	当館蔵(T.C)
溪斎英泉	木曾街道 倉賀野宿 烏川の凶	保永堂(竹内孫八)	大判錦絵	天保6～7年(1835-36)頃カ	当館蔵(T.C)
歌川広重	木曾海道六拾九次之内 下諏訪	錦樹堂(伊勢屋利兵衛)	大判錦絵	天保7～8年(1836-37)頃カ	当館蔵
歌川広重	木曾海道六拾九次之内 贄川	錦樹堂(伊勢屋利兵衛)	大判錦絵	天保7～8年(1836-37)頃	当館蔵(T.C)
溪斎英泉	木曾街道 藪原 鳥居峠硯ノ清水	保永堂(竹内孫八)	大判錦絵	天保6～7年(1835-36)頃カ	当館蔵(T.C)
歌川広重	木曾海道六拾九次之内 三渡野	錦樹堂(伊勢屋利兵衛)	大判錦絵	天保7～8年(1836-37)頃	当館蔵(T.C)
歌川広重	木曾海道六拾九次之内 伏見	錦樹堂(伊勢屋利兵衛)カ	大判錦絵	天保8～9年(1837-38)頃カ	当館蔵
歌川広重	木曾海道六拾九次之内 関ヶ原	錦樹堂(伊勢屋利兵衛)カ	大判錦絵	天保8～9年(1837-38)頃カ	当館蔵
歌川広重	木曾海道六拾九次之内 高宮	錦樹堂(伊勢屋利兵衛)	大判錦絵	天保8～9年(1837-38)頃カ	当館蔵
歌川広重	京都名所之内 祇園社雪中	栄川堂(川口屋正蔵)	大判錦絵	天保5年(1834)頃	当館蔵(T.C)
歌川広重	京都名所之内 嶋原出口之柳	栄川堂(川口屋正蔵)	大判錦絵	天保5年(1834)頃	当館蔵(T.C)
歌川広重	京都名所之内 八瀬之里	栄川堂(川口屋正蔵)	大判錦絵	天保5年(1834)頃	当館蔵(T.C)
歌川広重	東海道 二十 五十三次 府中	寿鶴堂(丸屋清次郎)	大判錦絵	弘化4～嘉永5年(1847-52)	当館蔵
歌川広重	東海道 廿六 五十三次 御油	寿鶴堂(丸屋清次郎)	大判錦絵	弘化4～嘉永5年(1847-52)	当館蔵
歌川広重	東海道 四十一 五十三次 鳴海	寿鶴堂(丸屋清次郎)	大判錦絵	弘化4～嘉永5年(1847-52)	当館蔵
歌川広重	東海道 五十二 五十三次 石部	寿鶴堂(丸屋清次郎)	大判錦絵	弘化4～嘉永5年(1847-52)	当館蔵
歌川広重	六十余州名所図会 伯耆 大野大山遠望	越村屋平助	大判錦絵	嘉永6年(1853)12月	当館蔵(T.C)
歌川広重	富士三十六景 雑司かや不二見茶や	紅英堂(蔦屋吉蔵)	大判錦絵	安政5年(1858)4月	当館蔵(T.C)
歌川広重	富士三十六景 相模七里が浜	紅英堂(蔦屋吉蔵)	大判錦絵	安政5年(1858)4月	当館蔵(T.C)
歌川広重	名所江戸百景 下谷広小路	魚屋栄吉	大判錦絵	安政3年(1856)9月	当館蔵(Y.C)
歌川広重	名所江戸百景 鐘の渡し小網町	魚屋栄吉	大判錦絵	安政4年(1857)10月	当館蔵(Y.C)
歌川広重	名所江戸百景 御厩河岸	魚屋栄吉	大判錦絵	安政4年(1857)12月	当館蔵(Y.C)
歌川広重	名所江戸百景 木母寺内川御前裁畑	魚屋栄吉	大判錦絵	安政4年(1857)12月	当館蔵(Y.C)
歌川広重	名所江戸百景 真乳山山谷堀夜景	魚屋栄吉	大判錦絵	安政4年(1857)8月	当館蔵(Y.C)
歌川広重	名所江戸百景 王子不動之滝	魚屋栄吉	大判錦絵	安政4年(1857)9月	当館蔵(Y.C)
歌川広重	名所江戸百景 堀切の花菖蒲	魚屋栄吉	大判錦絵	安政4年(1857)閏5月	当館蔵(Y.C)
歌川広重(二代)	名所江戸百景 上野山した	魚屋栄吉	大判錦絵	安政5年(1858)10月	当館蔵(Y.C)
歌川広重	名所江戸百景 大てんま町木綿店	魚屋栄吉	大判錦絵	安政5年(1858)4月	当館蔵(Y.C)
歌川広重	名所江戸百景 芝神明増上寺	魚屋栄吉	大判錦絵	安政5年(1858)7月	当館蔵(Y.C)
歌川広重	名所江戸百景 日本橋通一丁目略図	魚屋栄吉	大判錦絵	安政5年(1858)8月	当館蔵(Y.C)
溪斎英泉	今世美女競 水茶屋	喜鶴堂(佐野屋喜兵衛)	大判錦絵	文化12～天保3年(1815-42)	当館蔵
歌川国芳	しほひがゑり	専玉堂(江崎屋辰蔵)	大判錦絵 三枚続	天保14～弘化4年(1843-47)	当館蔵(T.C)
歌川広重(二代)	諸国名所百景 長崎 丸山の景	魚屋栄吉	大判錦絵	安政6年(1859)10月	当館蔵
歌川豊国(三代)	五節句の内 平泉楼 弥生の花	万屋孫兵衛	大判錦絵 三枚続	明治4年(1871)	当館蔵
歌川広重(三代)	東京開華名所図絵之内 四日市郵便 駅通寮	未詳	大判錦絵	明治10年(1877)頃	当館蔵(T.C)
小林幾英	そくはつ合姉盡	円泰堂(森本順三郎)	大判錦絵	明治20年(1887)	当館蔵
揚州周延	歳徳恵方詣	松成保太郎	大判錦絵 三枚続	明治29年(1896)12月	当館蔵
無款(不詳)	着セカへ寿賀多絵	網島亀吉	大判錦絵	明治31年(1898)	当館蔵
無款(不詳)	喜世賀恵すが多絵	網島亀吉	大判錦絵	明治31年(1898)	当館蔵
無款(不詳)	阿祢さま両めん合	網島亀吉	大判錦絵	明治32年(1899)10月15日	当館蔵

※作品リストと陳列順は一致しない ※T.C：田中コレクション、Y.C：吉村コレクション

企画展

ウーマンズライフスタイル

Exhibition Woman's Life Style

[Exhibition dates] December 15th (Thu.) - January 22nd (Sun.)



令和4年(2022)

令和5年(2023)

会期

12.15(木) ◆ 1.22(日)

◆令和5年(2023)1.2(月)はお正月特別開館、観覧無料。



中山道広重美術館

Hiroshige Museum of Art, Ena

【中山道広重美術館スポンサー制度協賛企業】

○毎週水曜日は観覧無料、フリーウェンズデー
(スポンサー) (株)三菱UFJ銀行、ナカヤマ・グループ、(株)デジタ

●毎週金曜日は観覧無料、フリーフライデー
(スポンサー) (株)鉄の森コーポレーション、象園住宅・カネコ・木KeyPoint、
(株)サラダコスモ、ちこり村

令和4年(2022)

令和5年(2023)

会期 12.15(木) ◆ 1.22(日)

◆令和5年(2023)1.2(月)はお正月特別開館、観覧無料。

観覧料 大人520円(420円)
 ()内は20名以上の団体料金
 18歳以下無料、障がい者手帳をお持ちの方
 と付き添いの方1名は無料

開館時間 9:30～17:00(入館は16:30まで)
 休館日 令和4年12.19(月)、12.26(月)～令和5年1.1
 (日)、1.3(火)、1.10(火)、1.16(月)
 主催 恵那市、恵那市教育委員会、
 (公財)中山道広重美術館

【関連イベント】

◆学芸員による作品ガイド
 日時 令和5年1.15(日)
 10:30～(30分程度)
 場所 展示室1(1F)

◆解説ボランティア観遊会による作品ガイド
 日時 随時(要事前予約)

浮世絵には「美人画」に代表されるように、太夫や有名茶屋の娘など艶やかな女性たちが数多く描かれてきましたが、市井の女性たちもまた登場します。江戸時代は、現代よりも顕著な男性優位の考えや厳しい身分制度のある時代でした。しかし、女性たちは、時に子育てと並行しながら男性願負けの力仕事をしたり、時に根気と丁寧さが求められる繊やかな手仕事をしたりと、日常をたくましく生きていました。また、江戸時代中期以降は庶民による遊興の旅も可能となったことから、名所絵や街道絵には旅を楽しむ女性の姿も描かれています。本展では、浮世絵を通して名もなき女性たちが日常を紡ぐ姿を垣間見ます。

〈図版〉

歌川広重「京都名所之内 八瀬の里」
 大判錦絵 天保5年(1834)頃
 当館蔵(田中コレクション)



3人の大原女がそれぞれ柴や梯子、木櫃を頭に乗せ、比叡山の麓に位置する集落・八瀬の小道を進んでいきます。山城国(現・京都府)大原に住む行商の女性・大原女は、京の町中で地元の特産品である薪柴、木工品を売り歩きました。大原女たちは、自身の頭から大きく張り出すほど大きく重量がある品々を軽々と頭の上に乗せ、力強い足取りで京へと向かいます。



企画展

ウーマンズライフスタイル

Exhibition Woman's Life Style

QRコード



Twitter



#広重おじコレ

広重が描く名所絵や街道絵をよく見てみると、小さく描き込まれた人物の存在に気づきます。当館では、広重作品に登場する「名もなき人物」に着目した企画を、公式ツイッターで発信しています。新たな視点から広重作品を見ることで、改めてその魅力を楽しんでいただくとともに、あなたの「推しおじ」を見つけてください。

なお、当企画ではご紹介するすべての男性を、親しみを込め「おじさん」と呼称しております。

中山道広重美術館
 公式Twitter: @hiroshige_ena
 過去の投稿は #広重おじコレ で検索



Museum Shop News

ミュージアムショップから江戸関連書籍のご紹介

ミュージアムショップでは、企画展「ウーマンズライフスタイル」に合わせて、江戸の庶民の暮らしに触れる書籍を販売しています。江戸で暮らす人々の、のびやかでたくましい日常を楽しんでみませんか。



①



②



③



④



⑤



- ①杉浦日向子著『お江戸暮らし』(ちくま文庫) 924円
 ②松下幸子著『江戸食の歳時記』(ちくま学芸文庫) 1,430円
 ③杉浦日向子著『一日江戸人』(新潮文庫) 605円
 ④江戸人文研究会編『絵で見る江戸の町とくらし図鑑』(廣済堂出版) 1,540円
 ⑤江戸人文研究会編『イラスト・図説でよくわかる江戸の州府神典』(廣済堂出版) 1,660円

中山道広重美術館
Hiroshige Museum of Art, Inc.

〒509-7201 岐阜県恵那市大井町176-1
 TEL(0573)20-0522 FAX(0573)25-0322
<https://hiroshige-ena.jp>

・JR 中央線恵那駅から直達徒歩約5分
 ・中央自動車道恵那インターから約5分